

公表：平成 7 年 4 月 23 日

事業所名 エミオン発寒

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1		・	設置基準に基づいている。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2		利用する子供たちの数に応じて職員配置の適正化に努めた。	利用する子どもの人数が固定してきたため、適切な職員配置になるように努める。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3			1階部分を利用、分かりやすい環境である。車いす対応、手すりの設置などはない。	整理整頓に努め、過度の刺激にならないよう努める。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			事業所評価を実施し、保護者等アンケートの結果を参考にする。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		3		今年度初めて、自己評価の結果を公開する。公開は、ホームページおよび保護者に配付する。	自己評価を計画的に行い、適切なサービス提供および安心安全な環境づくりに努める。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3			第三者委員会は設置していない。研修や保護者の意見を参考に業務改善を検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			研修会等の案内を紹介し参加機会を設ける。	事業所内研修を、計画的に実施する。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3			本人及び保護者にアセスメントを取りながら、ニーズを把握する。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			自立活動指導内容表やガイドライン支援内容などを使用する。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			ガイドラインを参考に、支援計画を作成する。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3				実態に合った支援計画になるよう努める。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3				他の事業所での研修機会を設け、計画的な活動プログラムになるよう努める。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			定期的な見直しをするよう努める。	課題準備や研修などで、随時見直しを行うよう努める。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3				個別活動（課題の時間）と集団活動（余暇支援）を、個々の興味関心を組み合わせる。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			朝の打ち合わせで、利用者の状況や送迎確認などを行っている。	療育担当者で、毎日、個々の課題などをうちあわせ
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3		当日に打ち合わせが出来なかった時は翌日に行っている。	アクシデントや通常意外の事があった時に、送迎後に打合せをする。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			記録を取り、支援につなげるようにしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3			最低6箇月に一度、モニタリングを実施している。	誕生月を基準に、6箇月に一度モニタリングを実施する。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	2		参加実績はないが、サービス担当者会議は、児童発達管理責任者が主に参加する。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	1			
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	2		実施実績はないが、必要に応じて情報共有に努める。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	2		実施実績はないが、必要に応じて情報共有に努める。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1		各機関で行われている研修会に参加している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	1	実施実績はない。	交流活動を計画することは、子どもたちが利用する時間帯から、難しい。

保護者への説明責任等	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	1	1	・自立支援協議会こども部会の研修会に参加している。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			送迎時や連絡帳、電話、面談等で共通理解が図られるよう努めている。	大切な連絡は、事業所から文書で伝えるよう工夫する。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	2		面談時などで、話題にしているが、家族支援プログラムの周知までには至っていない。	
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約時に、重要説明事項に基づき、説明に努めている。	利用者負担等、制度の変更があった場合は、適宜、説明するよう努める。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			ガイドラインを参考に、支援計画を作成するとともに、支援内容等の説明を行い同意が得られるよう努めている。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			連絡帳や電話、面談時などで、相談等ができるよう努めている。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか					
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			相談窓口は設置しており、担当者が対応することになっている。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			定期的に、活動の様子をお便りで知らせるように努めている。	大切なお知らせは、事業所から文書を配布する。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3			個人情報の取り扱いには十分に注意している。	個人情報の規定を作成しており、職員には研修の場を設定する。
非常時等の対応	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			実態や特性に応じた方法を工夫できるように努めている。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	1	行事等に招待する予定はない。	地域でのイベントなどの機会に、参加して地域交流を図りたい。
	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	1		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、業務継続計画など、必要な規定やマニュアルは策定している。	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1		職員で避難訓練の研修を行った。	避難訓練を、業務継続計画や消防計画に基づいて計画的に実施する。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	2	1		見学等に、健康上の実態把握を行っている。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		2	1	医師の指示書を必要とする該当児はいない。	アレルギー等で、指示書が必要なケースがある場合は、職員研修の実施など、適切に対応する。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			報告様式は策定している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3				年に一度は、職員研修を実施する。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3			支援計画に記載し、身体拘束に関する同意を得ている。	年に一度は、職員研修を実施する。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。